

令和3年度 大阪府立高津高等学校 第3回学校運営協議会 会議録

日時：令和4年3月25日（金）18時30分～19時30分

場所：本校校長室

出席者：委員 森田 英嗣（大阪教育大学教授・副学長）＜オンライン参加＞  
新崎 国広（大阪教育大学教授） ＜オンライン参加＞  
竹村 伍郎（NPO法人 まち・すまいづくり理事長）  
浅田 千鶴（同窓会副会長）＜オンライン参加＞  
川端 秀治（現PTA会長）【欠席】  
上杉 伸一（前PTA会長）【欠席】

事務局 上田 信雄（校長）、佐保田 真一（教頭）、山崎 義文（事務長）、  
伊勢田 佳典（首席）、山口 優（首席）、前川 紘紀（進路指導主事）、  
尾崎 知佐子（記録係）

1. 挨拶（上田校長より）

2. 学校からの説明

①大学合格状況について（進路指導主事より）

- ・大学入学共通テスト（3/24時点）に関する報告

全国的難易度は前年よりもかなり難化。＜前年度比＞数学ⅠA（-20点）、ⅡB（-16.8点）  
全体的にも低下、平均点も過去最低 高津文系 613点、理系 590点/900点（全国 513点）

- ・出願状況

共通テスト後の丁寧な指導で弱気になることなく出願することができた。

難関3大学前期日程出願者数：京大（10）、阪大（64）、神大（90）

例年に比べ出願数は多かった。大阪公立大（172）出願者は大阪府立大学と大阪市立大学が統合されるため一概に比較できないが、例年並みと考えられる。

- ・合格者数

難関3大学の本年卒+過年卒の合格者数：京大（7）阪大（34）神大（27）

国公立大学の合格者数：207名（本年卒 163名+過年卒 44名）

現役生の国公立合格率 46%で過去20年中最も高い。

74期は入学当初から成績はやや高かったが、学年進路を中心に指導した結果があらわれた。

②令和2年度 学校教育自己診断結果について（首席より）

（令和3年12月実施 Google フォームで回答）

- ・生徒は、多くの内容で高評価を得た。

特に「2.本校の授業は、分かりやすく楽しい」の項目で2年生は前年度に比べて10ポイント上昇した。

- ・「3. 本校の授業にはプロジェクター、コンピュータ等の ICT 機器や生徒の 1 人 1 台端末が効果的に活用されている」の項目は昨年度と変更した。10 月に生徒 1 人 1 台の Chromebook を配付したため使用期間が少なかったことも影響している。
- ・土曜講習や長期休暇中の講習の取組みについては特に 2 年生が肯定的だった。
- ・女子トイレの改修が 11 月に終了し、「19. 本校の教室・廊下・トイレ等の環境は、学習の場にふさわしく清潔が保たれている」の数字が上昇した。
- ・保護者は、昨年度と大きく違いはみられなかった。19. の施設設備面では 1 年生が高く、PTA 活動や行事など保護者の参加に関しては、1 年生は学校行事には参加できなかったものの、PTA 活動、授業参観の機会があったため数値は上昇しているが、2 年生は昨年度より 20 ポイント下がっている。
- ・教職員は、多数の項目で否定的な意見が多かった。
- ・記述回答も大半は施設設備の意見（男子トイレもきれいにしてほしいなど）が 7 割、概ね学習活動については満足していると考えられる。

#### <質疑応答>

質問：教職員の学校教育自己診断で下がっている項目について、コロナ禍で教員が相互で話し合う機会が減っているということか。

回答：休校が続くと教員同士でコミュニケーションをとれる場を設定することが難しい状況があったことが影響している可能性がある。

質問：生徒の質問 3 の内容（授業における ICT 機器や生徒の 1 人 1 台端末の活用に関する項目）が変更されたとのことだが、これは大阪府共通の質問なのか。

回答：すべての質問は同じではないが、今年度については 1 人 1 台端末に関する項目をいれるということであった。

質問：変更したことは妥当だと思うが、項目の異なる昨年度と同じように比較できないのではないかと。変更前の質問も載せたほうがいい。教職員の項目も大阪府内で同じなのか。

回答：ひな形があるが、学校により独自に変更している部分もある。本校は他校よりも変更している部分は多くあるのではないかとと思う。

質問：教職員のデータで肯定率が下がった原因が気になる。20 ポイントぐらい下がっている項目があり、コロナの影響あるいは観点別評価に関して影響があったとのことだが、コロナは前年、観点別評価は随分前からやることは決まっていた。他校と比較してみればいいのか。他校と比較はできるのか。

回答：他校との比較はしていない。各校全体的な方向性は HP に掲載している。

質問：他校を気にして、原因を追究してもいいのではないかと。

回答：ストレスチェック、同僚の支援、コミュニケーションなどポイントが高くなっていることも多い。

意見：丁寧に分析する必要がある。

③令和 3 年度学校評価（案）ならびに令和 4 年度学校経営計画（案）（校長より）

・「令和3年度学校評価（案）について」

「1めざす学校像」「2中期的目標」は、年度当初と変わっていない。

学校教育自己診断の評価は現時点では未記載となっている。

「3取組内容及び自己評価」については、2回目の学校運営協議会の意見を反映している。

・「令和4年度学経営計画（案）について」

- ・昨年度との変更点について、「1めざす学校像」【生徒に育みたい力】と「2中期的目標」をリンクさせた。「1めざす学校像」「2中期的目標」の方針について説明。

<質疑応答・討議>

質問：2の項目だてが変更されている。1（1）ウGTECについて、もっと目標を高くできるのではないか。

回答：単年度ではなく3年ぐらいを目標にしている。PDCAサイクルなども活用し次年度への変更点を考えていく。来年度は、GTECに代わり英検の方向に変わるので、それを含んだ承認をお願いします。

質問：2（3）校内研修の肯定率と、ミドルリーダーに関する肯定率が下がっている理由は何か。

回答：研修数などは例年通りだが、ポイントを検討する。新任、転任者数が増え、40代が少なくなっている。50代後半、60代、20代が多く、どの年代も学校運営に関わっていく。

分掌長は3年で交代し次年度は若返りを図っている。さまざまな仕事を経験して、他校に異動してもミドルリーダーとしてやっていけるように、どのようにマネジメントしていくかが課題。

※質疑応答・討議の後、令和4年度の学校運営方針（「学校経営計画」の「1めざす学校像」「2中期的目標」について、承認された。

#### 4. その他

<全体を通しての意見・提言>

- ・3（2）開かれた学校づくりの推進について、コロナ禍で社会が変化し、もう以前の世の中には戻らないという観点で取り組んでほしい。
- ・学校経営の中で、公立高校の強みを生かした取組み、大阪国際交流センターに近い立地、恵まれた教育環境、地域の教育的な社会インフラを活かした開かれた学校づくりのすべてにうまく活用してはどうか。（能楽堂2か所、文楽劇場、市立博物館、科学館、自然史博物館など）
- ・高津の財産である卒業生を活かすなど、包括的な外部との連携が結果的に開かれた学校づくりの推進につながるのではないか。

⇒今年度着任時に高津のSWOT分析を実施して教員と面談を行った。本校の立地が有利、色々な施設が近く地域とつながるこだわりがある。

大阪国際交流センターも委員のご尽力でつながっている。地元の高津中学校と科学部の連携など横・縦の広がりを作っていきたい。ご提案いただいたことを活かし、生徒が興味関心を持つ

で地域を知り、つながっていくことを大切にしたい。

- ・同窓会としても、高津高等学校との共同企画として同窓生がクリエイトラボで月1回程度でセミナーを開く予定で動き始めている。
- ・今年度も出願倍率1.58倍で府下3番めに応募者数が多かったと聞くとうれしい。卒業生は、「自由と創造」を誇りに思っており、在校生には何か支援したいと考えている同窓生が多いので、人的・金銭的にもバックアップしていきたい。
- ・先ほど承認されたが、令和4年度中期的目標にある国公立130人以上が控えめに感じるので、目標を上げてもいいのではないかと。
- ・同窓会としても学校運営協議会に参加させていただき学校の動きに興味を持つようになった。これからも学校と一緒にいろいろなことを活動していきたい。

⇒ 2月に実施したクリエイトラボのセミナーに保護者の方も多く参加していただき好評を得たと喜んでいる。多くの先輩の方々とつながっていければいいと思っている。

国公立大学の合格者について、いい結果が出ているので、今後、生徒の励みのためにも上げていっていいのではと感じている。次回（お示しするときは）上がっているという方向でご承認いただきたい。

本校、大変人気があり、毎年500名以上の志願者に来ていただいている。その影響もあってか入学者選抜と合格者発表の当日に報道機関の対象校となり、ニュースで報道された。

休校と再開が続いたことに関してメディア機関から取材を受けた。他にも休校している学校がある中でも注目してもらえている。

GTECの件について、経年変化を見ると毎年CEFRの高い生徒が増えており、また毎年英検資格をもって受験する生徒が増えている。

英語運用能力4技能を使って自分の資格とするには英検の方がよいとした。

ミドルリーダーに関して、今年度は、ミドルだけでなく、経験年数の多少に関わらず教員がリーダーシップをとって、積極的に学習効果を上げた。それが今年の大学入試の結果につながっている。

意見：数値だけ見れば落ちているが、実は個々の先生方が主体的に活動しているということがわかった。

意見：今のような数値の変化に基づいて今のような考察をしていく、探究的なコミュニケーションすることに価値があり、重要である。